

報告第 1 号 路線バスの運行状況について  
月形町内を運行する路線バス 4 路線

個別路線の収支状況に  
ついては非公開



## 月形町おでかけハイヤー事業について

### 1 令和3年度定額ハイヤー（実証運行）結果等

#### （1）事業評価

##### ■認知度、ニーズについて

事業開始時の利用登録人数は、前年度実施した乗り合いハイヤー事業の登録者で継続利用を希望した30人であり、住民の反応は少ない中での事業開始であったため、広報紙への掲載やIP電話での配信、また、社会福祉協議会主催の事業等で説明会を行ったが、登録人数も利用実績も伸び悩んだ状況が続いた。

10月から利用者が負担する定額運賃を市街地600円から400円に、郊外部を1,400円から1,000円に変更したところ、市街地では初乗り運賃以下でハイヤーを利用でき、郊外部では通常運賃の半額程度で利用できることになり、登録者数は日々増加した。11月には月形町地域公共交通活性化協議会で決定した本格運行基準の一つである90人を超え、実証運行の最終的な登録者数は132人となり、事業のニーズが十分あると判断できた。

##### ■利用状況について

定額運賃を変更する前は、市街地では乗車運賃が定額運賃600円を超える住民は少なく、利用者は市街地から離れている北農場地区の住民の利用が大半を占めていた。10月以降の運賃変更後は、市街地、郊外部において偏りがなく利用されている。

利用時間については、9時台から11時台の利用が多く、9時台に目的地へ行き、11時台に自宅へ帰る利用傾向が見えた。

目的地については、月形町役場と町立病院の利用が多く、病院や銀行などの用事を済ませ、エコープで買い物をし、帰りは月形町役場で乗車している。前期と後期を比較すると、利用の少ない月と比較して多い月では約5倍の利用増となっている。

##### ■アンケートについて

令和4年2月1日時点で利用登録されている町民123名に対し、2月2日から2月18日までの期間、アンケートを実施した。（回答者96名・回答率約78%）

定額ハイヤーを利用したい人、今後も必要と回答した人、本格運行した場合に利用したい人が約90%を超え、制度に対しても約70%が適切であると回答があった。また、事業の満足度についても約70%以上の人が満足、どちらかといえば満足であるとの回答があり、今後も事業継続を望む結果となった。

その他意見として、「土日祝日にも利用したい」、「利用時間を広げてほしい」、「目的地にエコープを追加してもらいたい。役場まで重い荷物を運べない。」といった意見があった。

#### （2）定額ハイヤーの課題

##### ■制度について

アンケートの意見にあった目的地の追加や土日祝日の利用、利用時間の拡張に

については、今後、利用状況と運行体制を踏まえて運行事業者と協議し、進めていくことが必要である。

定額運賃については、利用者が増加した場合に、町負担額の増加が見込まれることから、定額運賃の引き上げや利用回数の制限等の検討の必要がある。

本事業は町単独事業であるため、持続可能な地域交通にするには財源確保が課題となってくる。

#### ■財源について

公共交通や地域づくり関連の補助金の対象とならないのが現状である。今後、本事業が対象となる補助金が創設された場合や、制度改正等で対象となる補助金がある場合は、積極的に活用していくこととする。

## 2 本格運行について

月形町地域交通活性化協議会において設定した「本格運行実施基準」より、90人以上の利用及び前年度のハイヤー事業の利用実績からの増加があったため、ハイヤー利用の増加効果があることを確認した。

町として、実証運行事業の評価、アンケートからの利用者の声、利用実績が増加していることを踏まえ、本事業は高齢者等の外出の促進、新たな地域交通として必要であると判断し、令和4年4月1日から本格運行を始めた。

#### 【現況（令和4年5月31日現在）】

##### (1) 事業名

月形町おでかけハイヤー事業 (事業名変更)

##### (2) 対象者

① 75歳以上の方 ② 70歳以上の運転免許のない方 ③ 障がいのある方

##### (3) 利用時間

【平日】午前9時00分～午後5時00分

##### (4) 定額運賃

① 400円/台

対象地区～北農場、市北、市南、赤川

② 1,000円/台

対象地区～札比内、南耕地昭栄、知来乙、中和

##### (5) 目的施設

① 石狩月形駅 ② 月形役場 ③ エーコープ (追加) ④ 月形郵便局

⑤ ホームマックニコット ⑥ 町立病院 ⑦ 交流センター ⑧ 月形温泉

⑨ 多目的研修センター ⑩ 総合体育館 ⑪ マンマルーナ (追加)

##### (6) 登録者数

156名

## 月形町地域公共交通網形成計画 利用者指標評価

基本方針	目標	施策	目標年次					評価
			2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	
月形町に安心して暮らし続けられる生活交通の確保 ～いま、町民とともに公共交通網をつくり、守り、育てるとき～								
目標 1 町民の広域的な生活交通を支援する公共交通の確保								
施策① 当別・札幌方面及び浦臼方面への生活移動の確保に資する J R 札沼線廃止代替バス路線の検討			○	●	●	●	●	令和 2 年 4 月 1 日 運行開始 ・月形浦臼線 ・月形当別線
施策② 月形線の利便性向上に向けた取り組みの検討			○	○	●	●	●	使いやすいダイヤ設定 ・ J R 札沼線との接続 ・月形高校の要望対応
目標 2 町内における利便性の高い公共交通の導入								
施策③ 郊外部における居住形態を考慮した予約運行型乗合交通等の導入			○	●	●	●	●	令和 2 年度 乗り合いハイヤー（実証運行） 令和 3 年度 定額ハイヤー（実証運行） 令和 4 年度 定額ハイヤー（本格運行）
施策④ 広域交通との円滑な乗り継ぎを支援する観光も考慮した町内交通の検討			○	●	●	●	●	岩見沢市、滝川市、当別町で鉄道との接続を考慮したダイヤ設定を検討。調整中
目標 3 乗り継ぎの利便性を向上させる交通結節点の創出								
施策⑤ 交通結節点における機能の検討			○	○	○	○	●	バスターミナル機能を持った地域拠点施設整備は、現在検討中

表 7 施策推進スケジュール（施策⑥から施策⑩まで）

基本方針	目標	施策	目標年次					評価
			2019	2020	2021	2022	2023	
月形町に安心して暮らし続けられる生活交通の確保 ～いま、町民とともに公共交通網をつくり、守り、育てるとき～								
目標 4 町民や観光客などの積極的な公共交通利用を促す利用促進策の展開								
施策⑥ 交通結節点におけるバスマップ配布などの情報提供機能の強化			○	○	●	●	●	旧石狩月形駅を交通結節点とし、バスマップを配布
施策⑦ 広報誌やホームページを活用した情報発信の実施			○	●	●	●	●	広報誌、HP（町、事業者）、IP電話で情報発信
施策⑧ 公共交通に関する地域への出前講座や地域・各種団体への説明会の開催			○	●	●	●	●	地域サロン、社会福祉協議会サロン、民生委員児童委員協議会ほか説明会を実施
施策⑨ 児童・生徒や高齢者等に対する乗り方講習や利用体験の実施			○	●	●	●	●	未実施
施策⑩ J R 札沼線沿線 4 町への観光誘客を目的とした鉄道レガシーを活用した新たな観光施策の検討			○	●	●	●	●	・旧石狩月形駅周辺整備検討中 ・イベント実施（跡地ウォーク、町民による廃線イベント）

(1) 計画の目標

目標1 町民の広域的な生活交通を支援する公共交通の確保

本計画で町民ニーズに即した廃止代替バスの導入及び月形線の見直しを予定していることから、2つのバス路線の平日の利用者数の増加を指標として設定します。

評価指標	現況値 (2018)	目標値 (2023)	実績 (人/日)			
			2020	2021	2022	2023
町内における廃止代替バスの平日利用者数の増加	142人/日 ※1	160人/日	51	41		
町内における月形線の平日利用者数の増加	109人/日 ※2	120人/日		76		

※1 町内に立地しているJR札沼線5駅での平日乗降者数の合計

※2 月形線における町内運行区間での平日乗降者数の合計

目標2 町内における利便性の高い公共交通の導入

本計画で導入を検討する予約運行型乗合交通等の導入を行うことで、郊外部において、これまで自由に外出することができなかった町民が、利用したい時間帯に外出することができるようになることから、町内を運行するハイヤーの利用者数を含む町内交通の年間利用者数の増加を指標として設定します。

評価指標	現況値 (2018)	目標値 (2023)	実績 (人/年)			
			2020	2021	2022	2023
町内交通の年間利用者数の増加	10,758人/年 ※3	11,850人/年	9,625	9,856		

※3 町内移動でハイヤーを利用している方の年間合計

目標3 乗り継ぎの利便性を向上させる交通結節点の創出

現在、本町で策定を進めている月形町地域拠点化整備基本構想と連携した交通結節点を創出することで、各種公共交通を利用した方が交通結節点に集まることが想定されることから、交通結節点の平日の利用者数の増加を指標として設定します。

評価指標	現況値 (2018)	目標値 (2023)	実績 (人/日)			
			2020	2021	2022	2023
交通結節点の平日利用者数の増加	112人/日 ※4	130人/日				

※4 JR石狩月形駅での平日の乗降者数の合計

目標4 町民や観光客などの積極的な公共交通利用を促す利用促進策の展開

本計画に基づき実施する利用促進策の展開で、バス路線の運行情報の発信を行うことにより、町民の積極的な公共交通利用につながることを想定されることから、町民における公共交通の利用割合の増加を指標として設定します。また、JR札沼線の鉄道レガシーを活用した観光施策を展開することにより、本町の年間の観光客数の増加を指標として設定します。

評価指標	現況値 (2018)	目標値 (2023)	実績			
			2020	2021	2022	2023
町民における公共交通の利用割合の増加	21.7% ※5	25.00%				
年間の観光客数(町内観光施設等の利用者数)の増加	117,000 人/年※6	130,000 人/年	101,102 人/年	87,764 人/年		

※5 町民の買い物や通院における公共交通(JR札沼線、月形線、江別・月形線、スクールバス、ハイヤー)の利用割合

※6 2017年時点

令和4年6月 日

（名称）月形町地域公共交通活性化協議会

生活交通確保維持改善計画の名称
月形町地域内フィーダー系統確保維持計画
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
<p>月形町は、岩見沢市方面へ通じる路線バス（月形線）、新篠津村方面へ通じる村営バス（江別月形線）、町内を循環する住民混乗可能なスクールバス（4路線）、令和2年5月に廃止となったJR札幌線の代替交通手段として、札幌市や当別町方面へ通じる代替バス（月形当別線）と、浦臼町方面へ通じる代替バス（月形浦臼線）の新たな運行により構成される公共交通機関網が広がっている。</p> <p>令和2年4月から運行している代替バスは、JR札幌線の代替として札幌市・当別町・浦臼町方面へと通じる機能を有しており、通学・通勤を目的とした利用者にとっては必要不可欠な交通手段となっているが、人口減少等の理由から、公共交通機関の利用者は減少しており、今後も行政に係る負担は増加することが予想される。</p> <p>今後の人口減少・高齢化を踏まえて、利用促進を図りながら、地域間幹線系統（月形線及び月形当別線）や地域内フィーダー系統（月形浦臼線）を確保・維持し、住民の生活交通手段を存続させていくことを目的とする。</p>
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
(1) 事業の目標
<p>【町民の広域的な生活交通を支援する公共交通の確保】</p> <p>JR札幌線が廃止となったことから、札幌市・当別町方面あるいは浦臼町方面への広域的な生活移動の確保を目的に代替バスの運行を行っている。</p> <p>町民ニーズに即した代替バスを運行し、月形・浦臼間のバス路線の平日の延べ利用者数の増加を指標として設定する。</p> <p>【月形・浦臼間の平日利用者数】</p> <p>R5年度（R4. 10. 1～R5. 9. 30）目標値：平日利用者41人/日</p> <p>※H30年度のJR月形・浦臼間での平日利用者数「36人/日」を踏まえ、R5年度の目標値「41人/日（12.6%増＝40.5人）」を目指す。</p> <p>※「月形町地域公共交通網形成計画」のP43より、浦臼～当別間の代替バスの町内平日利用者数の増加率12.6%を参考とする。</p> <p>（12.6%＝目標値（2023年）160人÷現況値（2018年）142人）</p>
(2) 事業の効果
<p>月形町・浦臼町間の代替バスを維持することにより、月形町北部から浦臼町南部の集落の高齢者等の通院・買い物・通学などの日常生活に必要な移動手段が確保される。</p> <p>また、幹線（岩見沢市方面及び札幌市方面）と支線（月形町・浦臼町間）とのネットワークが連携されることで効率的な運行体系が実現でき、外出促進・地域活性化にもつながり、沿線町の公共交通全体の利用拡大が図られる。</p>
3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR札沼線代替バスについて、町民の利用状況やニーズを踏まえて、運行ルートや運行時間帯、便数、運賃等の運行内容を検討し、町民等が使いやすいバス路線を整備（月形町、隣接2町、運行事業者）</li> <li>・ 月形町内を運行する公共交通の情報発信として、ホームページだけでなく、各種公共交通の運行情報を記載した総合的なバスマップを随時更新し、町民へ配布するほか、観光客向けに町内市街地に整備した交通結節点での配布（月形町）</li> <li>・ 町民を対象とした地域への出前講座や各種団体等への公共交通に関する説明会の開催（月形町、町民、町内各種団体）</li> <li>・ 児童・生徒や高齢者等の町民を対象としたバスの乗り方講習や体験乗車の実施（月形町、小中学校、運行事業者）</li> </ul> <p>（月形町地域公共交通網形成計画 P32～33、P37～39 参照）</p>
<p>4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運行予定者</p>
<p>表1のとおり</p>
<p>5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者</p>
<p>運行事業者への補助金額については、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を、月形町及び浦臼町で負担することとしている。</p>
<p>6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称</p>
<p>株式会社美唄自動車学校</p>
<p>7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 <b>【活性化法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】</b></p>
<p>該当なし</p>
<p>8. 別表1の補助対象事業の基準二ただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めたシステムの概要 <b>【地域間幹線システムのみ】</b></p>
<p>該当なし</p>
<p>9. 別表1の補助対象事業の基準八に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧 <b>【地域間幹線システムのみ】</b></p>
<p>該当なし</p>
<p>10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 <b>【地域間幹線システムのみ】</b></p>
<p>該当なし</p>
<p>11. 外客来訪促進計画との整合性 <b>【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】</b></p>
<p>該当なし</p>
<p>12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要</p>

<b>【地域内フィーダー系統のみ】</b>
表5のとおり
<b>13. 車両の取得に係る目的・必要性</b> <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
<p>月形浦臼線は新規に運行を開始した路線であり、当該路線を運航するための車両を手当てすることができないため、新たにワゴン車両（14人乗り）を1台導入する必要があった。</p>
<b>14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果</b> <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
<b>(1) 事業の目標</b>
<p><b>【町民の広域的な生活交通を支援する公共交通の確保】</b>  JR札幌線が廃止となったことから、札幌市・当別町方面あるいは浦臼町方面への広域的な生活移動の確保を目的に代替バスの運行を行っている。  町民ニーズに即した代替バスを運行し、月形・浦臼間のバス路線の平日の延べ利用者数の増加を指標としている。</p> <p><b>【月形・浦臼間の平日利用者数】</b>  R5年度（R4. 10. 1～R5. 9. 30）目標値：平日利用者41人／日</p> <p>※H30年度のJR月形・浦臼間での平日利用者数「36人／日」を踏まえ、R5年度の目標値「41人／日（12.6%増＝40.5人）」を目指す。  ※「月形町地域公共交通網形成計画」のP43より、浦臼～当別間の代替バスの町内平日利用者数の増加率12.6%を参考とする。  （12.6%＝目標値（2023年）160人÷現況値（2018年）142人）</p>
<b>(2) 事業の効果</b>
<p>月形町・浦臼町間の廃止代替バスを維持することにより、月形町北部から浦臼町南部の集落の高齢者等の通院・買い物・通学などの日常生活に必要な移動手段が確保される。</p> <p>また、幹線（岩見沢市方面及び札幌市方面）と支線（月形町・浦臼町間）とのネットワークが連携されることで効率的な運行体系が実現でき、外出促進・地域活性化にもつながり、沿線町の公共交通全体の利用拡大が図られる。</p>
<b>15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の負担者【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
<p>表6のとおり</p> <p>なお、運行事業者への補助金額については、国庫補助金を差し引いた差額分を月形町及び浦臼町が負担することとしている。</p>

16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） <b>【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
該当なし
17. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
該当なし
18. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
(1) 事業の目標
該当なし
(2) 事業の効果
該当なし
19. 貨客混載の導入に係る計画の概要 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
該当なし
20. 貨客混載の導入に要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
該当なし
21. 協議会の開催状況と主な議論
<p>令和3年2月15日 令和2年度第3回協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な協議事項：代替バスダイヤ改正（令和3年4月1日改正）について</li> </ul> <p>令和3年6月4日 令和3年度第1回協議会（書面協議）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な協議事項：地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について 代替バスダイヤ改正（令和3年10月1日）について</li> </ul> <p>令和3年10月27日 令和3年度第2回協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な協議事項：地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について バス停の追加等について</li> </ul> <p>令和4年6月14日 令和4年度第1回協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な協議事項：地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について 路線バスの運行状況について</li> </ul>
22. 利用者等の意見の反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・月形町民を対象に平成30年8月にアンケート調査を実施</li> <li>・平成30年7月にJRと中央バスを対象に、乗降調査を実施し、個別にヒアリング調査を実施</li> <li>・令和2年9月に代替バスの乗降調査を実施し、利用者にヒアリング調査を実施</li> </ul>
23. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	別紙のとおり
関係市区町村	別紙のとおり（月形町、浦臼町、当別町）
交通事業者・交通施設管理者等	別紙のとおり
地方運輸局	別紙のとおり
その他協議会が必要と認める者	別紙のとおり

**【本計画に関する担当者・連絡先】**

（住 所）北海道樺戸郡月形町1219番地

（所 属）月形町企画振興課地域振興係

（氏 名）新道 孝治

（電 話）0126-53-2325

（e-mail）chiikishinko@town.tsukigata.lg.jp

**注意：** 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらずとも差し支えありません。

また、既存計画部分で生活交通確保維持改善計画の記載項目に合致する部分は、そこからの転記や、該当部分を明確にした上での添付などにより活用いただいて差し支えありません。実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。（ただし、上記2.・3.については、地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、生活交通確保維持改善計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります）。

外客来訪促進計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和5年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利 便 増 進 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)				
			起点	経由地 営業区域	終点					運行態様 の別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策	基準二で該当 する要件 (別表7のみ)	
月形町	株式会社美唄自動車学校	(1) 月形浦臼線	浦臼駅	札比内駅	月形駅	往 19.3km 復 19.5km	364 日	1,702.0 回		路線定期運行	①	下段モータース月形当別線と北海道中央バス月形線の町内交通結節点(月形駅等)と接続するダイヤ設定などの措置を講じる。	③	
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「利便増進特例措置」については、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市町村名	月形町
------	-----

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	3,691
交通不便地域	3,691

交通不便地域の内訳

人口	対象地区	根拠法
3,691	町内全域	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画の策定年月日及び算定式適用開始年度

計画名	策定年月日	算定式適用開始年度
月形町地域公共交通網形成計画	平成31年4月25日	—

(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。  
※なお、実施要領等で別に定める場合は、それによること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（以下、「交付要綱」という。）の別表7（ロ②（1））に記載のある過疎地域の人口及び交付要綱別表7（ロ②（2）（実施要領の2.（1）⑭））に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が上記3.に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。

(2) 添付書類

1. 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図  
(ただし、全域が交通不便地域となる場合には省略可)

運行回数・実車走行キロ算定表①

\*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回  
ただし、循環系統は1運行1回  
\*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	月形浦白線	1日当たり		計画		実績		備考								
		運行回数	計画運行回数	計画運行回数	計画実車走行キロ	運行回数	実績運行回数	実績運行回数	実績実車走行キロ							
		4.7	C	D又はG	E	364	1,702.0	1,702.0	100.00							
			4.7													
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備 考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行日数 H	運行回数*1			実車走行キロ			
4年 10月	平日	往復	19.3	4	20	90.0	1,544.0				90.0				1,544.0	
		復	19.5	5			1,950.0									
	平日	往復	18.7	1	20	10.0	374.0				10.0				374.0	
		復														
	土日祝	往復	19.3	3	11	38.5	636.9				38.5				636.9	
		復	19.5	4			858.0									
	土日祝	往復	18.7	1	11	5.5	205.7				5.5				205.7	
		復														
小 計				31	144.0	5,568.6				144.0				5,568.6		

年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備 考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行日数 H	運行回数*1			実車走行キロ			
4年 11月	平日	往復	19.3	4	20	90.0	1,544.0				90.0				1,544.0	
		復	19.5	5			1,950.0									
	平日	往復	18.7	1	20	10.0	374.0				10.0				374.0	
		復														
	土日祝	往復	19.3	3	10	35.0	579.0				35.0				579.0	
		復	19.5	4			780.0									
	土日祝	往復	18.7	1	10	5.0	187.0				5.0				187.0	
		復														
小 計				30	140.0	5,414.0				140.0				5,414.0		

年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備 考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行日数 H	運行回数*1			実車走行キロ			
4年 12月	平日	往復	19.3	4	22	99.0	1,698.4				99.0				1,698.4	
		復	19.5	5			2,145.0									
	平日	往復	18.7	1	22	11.0	411.4				11.0				411.4	
		復														
	土日祝	往復	19.3	3	9	31.5	521.1				31.5				521.1	
		復	19.5	4			702.0									
	土日祝	往復	18.7	1	9	4.5	168.3				4.5				168.3	
		復														
小 計				31	146.0	5,646.2				146.0				5,646.2		

運行回数・実車走行キロ算定表①

\*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回  
ただし、循環系統は1運行1回  
\*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	月形浦白線	1日当たり		計画		実績		計画		実績		計画		実績		備考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
		運行回数	計画運行回数 C	364	計画運行回数 (い) D 又は G	1,702.0	実績運行回数 (ろ) K	1,702.0	計画実車走行キロ E	65,819.2	実績実車走行キロ N	65,819.2	運休回数 (い)-(ろ)=(は) 0.5回	やむを得ない運休回数 (に) I	運行割合 (ろ+に)/(い)=(ほ) 100.00			
5年 1月	平日	往復	19.3	4	19	85.5	1,466.8			19	85.5			85.5		1,466.8		
		復	19.5	5														
	平日	往復	18.7	1	19	9.5	355.3			19	9.5			9.5		355.3		
		復																
	土日祝	往復	19.3	3	11	38.5	636.9			11	38.5			38.5		636.9	1月1日運休	
		復	19.5	4														
	土日祝	往復	18.7	1	11	5.5	205.7			11	5.5			5.5		205.7	1月1日運休	
		復																
	小計				30	139.0	5,375.2			30	139.0			139.0		5,375.2		
	5年 2月	平日	往復	19.3	4	19	85.5	1,466.8			19	85.5			85.5		1,466.8	
			復	19.5	5													
		平日	往復	18.7	1	19	9.5	355.3			19	9.5			9.5		355.3	
			復															
土日祝		往復	19.3	3	9	31.5	521.1			9	31.5			31.5		521.1		
		復	19.5	4														
土日祝		往復	18.7	1	9	4.5	168.3			9	4.5			4.5		168.3		
		復																
小計				28	131.0	5,066.0			28	131.0			131.0		5,066.0			
5年 3月		平日	往復	19.3	4	22	99.0	1,698.4			22	99.0			99.0		1,698.4	
			復	19.5	5													
		平日	往復	18.7	1	22	11.0	411.4			22	11.0			11.0		411.4	
			復															
	土日祝	往復	19.3	3	9	31.5	521.1			9	31.5			31.5		521.1		
		復	19.5	4														
	土日祝	往復	18.7	1	9	4.5	168.3			9	4.5			4.5		168.3		
		復																
	小計				31	146.0	5,646.2			31	146.0			146.0		5,646.2		



運行回数・実車走行キロ算定表①

\*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回  
ただし、循環系統は1運行1回  
\*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	月形浦白線	1日当たり		計画		実績		計画		実績		備考 (調整、増便、運休回数の理由等)				
		運行回数	計画運行回数 C	364	実績運行回数 H	1,702.0	計画運行回数 (い) D 又は G	1,702.0	計画実車走行キロ E	65,819.2	実績実車走行キロ N		65,819.2			
		4.7		E		65,819.2		D+I+J=K		100.00						
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
				運行回数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行回数 H	増便 I	運休 (-) J	天災*2 I	D+I+J=K		増 L	減 M
5年	7月	平日	往復	19.3	4	20	90.0	1,544.0				90.0			1,544.0	
			復	19.5	5			1,950.0							1,950.0	
	平日	往復	18.7	1	20	10.0	374.0				10.0			374.0		
		復														
	土日祝	往復	19.3	3	11	38.5	636.9				38.5			636.9		
		復	19.5	4			858.0							858.0		
	土日祝	往復	18.7	1	11	5.5	205.7				5.5			205.7		
		復														
小 計				31	144.0	5,568.6				144.0			5,568.6			
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
				運行回数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行回数 H	増便 I	運休 (-) J	天災*2 I	D+I+J=K		増 L	減 M
5年	8月	平日	往復	19.3	4	22	99.0	1,698.4				99.0			1,698.4	
			復	19.5	5			2,145.0							2,145.0	
	平日	往復	18.7	1	22	11.0	411.4				11.0			411.4		
		復														
	土日祝	往復	19.3	3	9	31.5	521.1				31.5			521.1		
		復	19.5	4			702.0							702.0		
	土日祝	往復	18.7	1	9	4.5	168.3				4.5			168.3		
		復														
小 計				31	146.0	5,646.2				146.0			5,646.2			
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
				運行回数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行回数 H	増便 I	運休 (-) J	天災*2 I	D+I+J=K		増 L	減 M
5年	9月	平日	往復	19.3	4	20	90.0	1,544.0				90.0			1,544.0	
			復	19.5	5			1,950.0							1,950.0	
	平日	往復	18.7	1	20	10.0	374.0				10.0			374.0		
		復														
	土日祝	往復	19.3	3	10	35.0	579.0				35.0			579.0		
		復	19.5	4			780.0							780.0		
	土日祝	往復	18.7	1	10	5.0	187.0				5.0			187.0		
		復														
小 計				30	140.0	5,414.0				140.0			5,414.0			
合 計				364	1,702.0	65,819.2				1,702.0			65,819.2			

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和6年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利 便 増 進 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)				
			起点	経由地 営業区域	終点					運行態様 の別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策	基準二で該当 する要件 (別表7のみ)	
月形町	株式会社美唄自動車学校	(1) 月形浦臼線	浦臼駅	札比内駅	月形駅	往 19.3km 復 19.5km	365 日	1,704.0 回		路線定期運行	①	下段モータース月形当別線と北海道中央バス月形線の町内交通結節点(月形駅等)と接続するダイヤ設定などの措置を講じる。	③	
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「利便増進特例措置」については、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市町村名	月形町
------	-----

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	3,691
交通不便地域	3,691

交通不便地域の内訳

人口	対象地区	根拠法
3,691	町内全域	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画の策定年月日及び算定式適用開始年度

計画名	策定年月日	算定式適用開始年度
月形町地域公共交通網形成	平成31年4月25日	—

(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。  
※なお、実施要領等で別に定める場合は、それによること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（以下、「交付要綱」という。）の別表7（ロ②（1））に記載のある過疎地域の人口及び交付要綱別表7（ロ②（2）（実施要領の2.（1）⑭））に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が上記3.に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。

(2) 添付書類

1. 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図  
(ただし、全域が交通不便地域となる場合には省略可)

運行回数・実車走行キロ算定表①

\*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回  
 ただし、循環系統は1運行1回  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	月形浦白線	1日当たり		計画		実績		備考											
		運行回数	計画運行回数 (い)	D 又は G	1,704.0	実績運行回数 (ろ)	K	1,704.0	運休回数 (い)-(ろ)=(は)	やむを得ない運休回数 (に) I									
		4.7	計画実車走行キロ E	65,896.2	実績実車走行キロ N		65,896.2	運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)		100.00									
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備 考 (調整、増便、運休回数の理由等)					
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行日数 H	運行回数*1			実車走行キロ						
				調整(路線不定期のみ)							D+I+J=K			E+L+M=N					
											増便 I			運休 (-) J			天災*2 I		
											増 L			減 M			E+L+M=N		
5年 10月	平日	往復	19.3	4	21	94.5	1,621.2						94.5			1,621.2			
		復	19.5	5														2,047.5	
	平日	往復	18.7	1	21	10.5	392.7						10.5			392.7			
		復																780.0	
	土日祝	往復	19.3	3	10	35.0	579.0						35.0			579.0			
		復	19.5	4														187.0	
	土日祝	往復	18.7	1	10	5.0	187.0						5.0			187.0			
		復																5,607.4	
小 計				31	145.0	5,607.4						145.0				5,607.4			
5年 11月	平日	往復	19.3	4	20	90.0	1,544.0						90.0			1,544.0			
		復	19.5	5														1,950.0	
	平日	往復	18.7	1	20	10.0	374.0						10.0			374.0			
		復																780.0	
	土日祝	往復	19.3	3	10	35.0	579.0						35.0			579.0			
		復	19.5	4														187.0	
	土日祝	往復	18.7	1	10	5.0	187.0						5.0			187.0			
		復																5,414.0	
小 計				30	140.0	5,414.0						140.0				5,414.0			
5年 12月	平日	往復	19.3	4	21	94.5	1,621.2						94.5			1,621.2			
		復	19.5	5														2,047.5	
	平日	往復	18.7	1	21	10.5	392.7						10.5			392.7			
		復																780.0	
	土日祝	往復	19.3	3	10	35.0	579.0						35.0			579.0			
		復	19.5	4														187.0	
	土日祝	往復	18.7	1	10	5.0	187.0						5.0			187.0			
		復																5,607.4	
小 計				31	145.0	5,607.4						145.0				5,607.4			

運行回数・実車走行キロ算定表①

\*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回  
ただし、循環系統は1運行1回  
\*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	月形浦白線	1日当たり		計画		実績		計画		実績		備考 (調整、増便、運休回数の理由等)							
		運行回数	計画運行回数 C	365	計画運行回数 (い) D 又は G	1,704.0	実績運行回数 (ろ) K	1,704.0	計画実車走行キロ E	65,896.2	実績実車走行キロ N		65,896.2	運休回数 (い)-(ろ)=(は) 0.5回	やむを得ない運休回数 (に) I	運行割合 (ろ+に)/(い)=(ほ) 100.00			
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)					
				運行回数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行回数 H	運行回数*1			実車走行キロ						
										増便 I	運休 (-) J	天災*2 I	D+I+J=K	増 L	減 M	E+L+M=N			
6年 1月	平日	往復	19.3	4	19	85.5	1,466.8						85.5			1,466.8	1,852.5		
		復	19.5	5			1,852.5									1,852.5			
	平日	往復	18.7	1	19	9.5	355.3						9.5			355.3			
		復																	
	土日祝	往復	19.3	3	11	38.5	636.9						38.5			636.9	858.0		1月1日運休
		復	19.5	4			858.0									858.0			
	土日祝	往復	18.7	1	11	5.5	205.7						5.5			205.7			1月1日運休
		復																	
小計				30	139.0	5,375.2							139.0			5,375.2			
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)					
				運行回数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行回数 H	運行回数*1			実車走行キロ						
										増便 I	運休 (-) J	天災*2 I	D+I+J=K	増 L	減 M	E+L+M=N			
6年 2月	平日	往復	19.3	4	19	85.5	1,466.8						85.5			1,466.8	1,852.5		
		復	19.5	5			1,852.5									1,852.5			
	平日	往復	18.7	1	19	9.5	355.3						9.5			355.3			
		復																	
	土日祝	往復	19.3	3	10	35.0	579.0						35.0			579.0	780.0		
		復	19.5	4			780.0									780.0			
	土日祝	往復	18.7	1	10	5.0	187.0						5.0			187.0			
		復																	
小計				29	135.0	5,220.6							135.0			5,220.6			
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)					
				運行回数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行回数 H	運行回数*1			実車走行キロ						
										増便 I	運休 (-) J	天災*2 I	D+I+J=K	増 L	減 M	E+L+M=N			
6年 3月	平日	往復	19.3	4	20	90.0	1,544.0						90.0			1,544.0	1,950.0		
		復	19.5	5			1,950.0									1,950.0			
	平日	往復	18.7	1	20	10.0	374.0						10.0			374.0			
		復																	
	土日祝	往復	19.3	3	11	38.5	636.9						38.5			636.9	858.0		
		復	19.5	4			858.0									858.0			
	土日祝	往復	18.7	1	11	5.5	205.7						5.5			205.7			
		復																	
小計				31	144.0	5,568.6							144.0			5,568.6			

運行回数・実車走行キロ算定表①

\*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回  
ただし、循環系統は1運行1回  
\*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	月形浦白線	1日当たり		計画		実績		計画		実績		備考 (調整、増便、運休回数の理由等)				
		運行回数	計画運行回数 C	計画運行回数 (い) D 又は G	計画実車走行キロ E	365	1,704.0	65,896.2	実績運行回数 H	実績運行回数 (ろ) K	実績実車走行キロ N		運休回数 (い)-(ろ)=(は) I	やむを得ない運休回数 (に) I	運行割合 (ろ+に)/(い)=(ほ) 100.00	
6年 4月	平日	往復	19.3	4	21	94.5	1,621.2 2,047.5				94.5			1,621.2 2,047.5		
		片道・循環系統キロ A	19.5	5												調整% F
	平日	往復	18.7	1	21	10.5	392.7					10.5			392.7	
		片道・循環系統キロ A														
	土日祝	往復	19.3	3	9	31.5	521.1 702.0					31.5			521.1 702.0	
		片道・循環系統キロ A	19.5	4												
	土日祝	往復	18.7	1	9	4.5	168.3					4.5			168.3	
		片道・循環系統キロ A														
	小計				30	141.0	5,452.8					141.0			5,452.8	

年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計画					実績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行日数 H	増便 I	運休 (-) J	天災*2 I	D+I+J=K		増 L	減 M
6年 5月	平日	往復	19.3	4	21	94.5	1,621.2 2,047.5				94.5			1,621.2 2,047.5		
		片道・循環系統キロ A	19.5	5												調整% F
	平日	往復	18.7	1	21	10.5	392.7					10.5			392.7	
		片道・循環系統キロ A														
	土日祝	往復	19.3	3	10	35.0	579.0 780.0					35.0			579.0 780.0	
		片道・循環系統キロ A	19.5	4												
土日祝	往復	18.7	1	10	5.0	187.0					5.0			187.0		
	片道・循環系統キロ A															調整% F
小計				31	145.0	5,607.4					145.0			5,607.4		

年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計画					実績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行日数 H	増便 I	運休 (-) J	天災*2 I	D+I+J=K		増 L	減 M
6年 6月	平日	往復	19.3	4	20	90.0	1,544.0 1,950.0				90.0			1,544.0 1,950.0		
		片道・循環系統キロ A	19.5	5												調整% F
	平日	往復	18.7	1	20	10.0	374.0					10.0			374.0	
		片道・循環系統キロ A														
	土日祝	往復	19.3	3	10	35.0	579.0 780.0					35.0			579.0 780.0	
		片道・循環系統キロ A	19.5	4												
土日祝	往復	18.7	1	10	5.0	187.0					5.0			187.0		
	片道・循環系統キロ A															調整% F
小計				30	140.0	5,414.0					140.0			5,414.0		

運行回数・実車走行キロ算定表①

\*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回  
ただし、循環系統は1運行1回  
\*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	月形浦白線	1日当たり		計画		実績		計画		実績		計画		実績		備考 (調整、増便、運休回数の理由等)			
		運行回数	計画運行回数 C	365	計画運行回数 (い) D 又は G	1,704.0	実績運行回数 (ろ) K	1,704.0	計画実車走行キロ E	65,896.2	実績実車走行キロ N	65,896.2	運休回数 (い)-(ろ)=(は)	やむを得ない運休回数 (に) I	運行割合 (ろ+に)/(い)=(ほ)		100.00		
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)					
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行日数 H	運行回数*1			実車走行キロ						
6年	7月	平日	往	19.3	4	1,698.4													
			復	19.5	5	2,145.0													
		往	18.7	1	411.4														
	平日	復																	
		往	19.3	3	521.1														
	土日祝	復	19.5	4	702.0														
		往	18.7	1	168.3														
	土日祝	復																	
		往	18.7	1	168.3														
	小計				31	146.0	5,646.2							146.0			5,646.2		
	6年	8月	平日	往	19.3	4	1,621.2												
				復	19.5	5	2,047.5												
往			18.7	1	392.7														
平日		復																	
		往	19.3	3	579.0														
土日祝		復	19.5	4	780.0														
		往	18.7	1	187.0														
土日祝		復																	
		往	18.7	1	187.0														
小計					31	145.0	5,607.4							145.0			5,607.4		
6年		9月	平日	往	19.3	4	1,466.8												
				復	19.5	5	1,852.5												
	往		18.7	1	355.3														
	平日	復																	
		往	19.3	3	636.9														
	土日祝	復	19.5	4	858.0														
		往	18.7	1	205.7														
	土日祝	復																	
		往	18.7	1	205.7														
	小計				30	139.0	5,375.2							139.0			5,375.2		
	合計				365	1,704.0	65,896.2							1,704.0			65,896.2		

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和7年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利 便 増 進 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地 営業区域	終点					運行態様 の別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策	基準二で該当 する要件 (別表7のみ)
月形町	株式会社美唄自動車学校	(1) 月形浦臼線	浦臼駅	札比内駅	月形駅	往 19.3km 復 19.5km	364 日	1,700.0 回		路線定期運行	①	下段モータース月形当別線と北海道中央バス月形線の町内交通結節点(月形駅等)と接続するダイヤ設定などの措置を講じる。	③
						往 km 復 km	日	回					
						往 km 復 km	日	回					
						往 km 復 km	日	回					
						往 km 復 km	日	回					

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「利便増進特例措置」については、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市町村名	月形町
------	-----

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	3,691
交通不便地域	3,691

交通不便地域の内訳

人口	対象地区	根拠法
3,691	町内全域	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画の策定年月日及び算定式適用開始年度

計画名	策定年月日	算定式適用開始年度
月形町地域公共交通網形成	平成31年4月25日	—

(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。  
※なお、実施要領等で別に定める場合は、それによること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（以下、「交付要綱」という。）の別表7（ロ②（1））に記載のある過疎地域の人口及び交付要綱別表7（ロ②（2）（実施要領の2.（1）⑭））に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が上記3.に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。

(2) 添付書類

1. 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図  
(ただし、全域が交通不便地域となる場合には省略可)

運行回数・実車走行キロ算定表①

\*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回  
ただし、循環系統は1運行1回  
\*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	月形浦白線	1日当たり		計画		実績		備考									
		運行回数	計画運行回数	計画運行回数	計画実車走行キロ	運行回数	実績運行回数	実績運行回数	実績実車走行キロ								
		4.7	C	D又はG	E	364	1,700.0	H	I	100.00							
			4.7	1,700.0	65,741.6												
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ	片道・循環回数	計 画					実 績					備 考 (調整、増便、運休回数の理由等)			
				運行日数	運行回数*1	実車走行km	調整%	運行回数	運行日数	運行回数*1			実車走行キロ				
		A	B	C	B×C=D	A×B×C=E	F	G	H	I	J	天災*2	I	K	L	M	N
6年	10月	往復	19.3	4	22	99.0	1,698.4							99.0			1,698.4
		復	19.5	5			2,145.0										2,145.0
		往	18.7	1	22	11.0	411.4							11.0			411.4
		復															
		往	19.3	3	9	31.5	521.1							31.5			521.1
		復	19.5	4			702.0										702.0
		往	18.7	1	9	4.5	168.3							4.5			168.3
		復															
小計					31	146.0	5,646.2							146.0			5,646.2

年月	曜日区分	片道・循環系統キロ	片道・循環回数	計 画					実 績					備 考 (調整、増便、運休回数の理由等)			
				運行日数	運行回数*1	実車走行km	調整%	運行回数	運行日数	運行回数*1			実車走行キロ				
		A	B	C	B×C=D	A×B×C=E	F	G	H	I	J	天災*2	I	K	L	M	N
6年	11月	往復	19.3	4	20	90.0	1,544.0							90.0			1,544.0
		復	19.5	5			1,950.0										1,950.0
		往	18.7	1	20	10.0	374.0							10.0			374.0
		復															
		往	19.3	3	10	35.0	579.0							35.0			579.0
		復	19.5	4			780.0										780.0
		往	18.7	1	10	5.0	187.0							5.0			187.0
		復															
小計					30	140.0	5,414.0							140.0			5,414.0

年月	曜日区分	片道・循環系統キロ	片道・循環回数	計 画					実 績					備 考 (調整、増便、運休回数の理由等)			
				運行日数	運行回数*1	実車走行km	調整%	運行回数	運行日数	運行回数*1			実車走行キロ				
		A	B	C	B×C=D	A×B×C=E	F	G	H	I	J	天災*2	I	K	L	M	N
6年	12月	往復	19.3	4	21	94.5	1,621.2							94.5			1,621.2
		復	19.5	5			2,047.5										2,047.5
		往	18.7	1	21	10.5	392.7							10.5			392.7
		復															
		往	19.3	3	10	35.0	579.0							35.0			579.0
		復	19.5	4			780.0										780.0
		往	18.7	1	10	5.0	187.0							5.0			187.0
		復															
小計					31	145.0	5,607.4							145.0			5,607.4

運行回数・実車走行キロ算定表①

\*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回  
 ただし、循環系統は1運行1回  
 \*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	月形浦白線	1日当たり		計画		実績		計画		実績		備考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
		運行回数	計画運行回数 C	364	実績運行回数 H	1,700.0	運行回数 (い)-(ろ)=(は)	計画運行回数 (い) D 又は G	1,700.0	実績運行回数 (ろ) K	1,700.0		やむを得ない運休回数 (に) I	
		4.7	計画実車走行キロ E	65,741.6	実績実車走行キロ N		65,741.6	運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)		100.00				
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)
				運行回数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行回数 H	増便 I	運休 (-) J	天災*2 I	D+I+J=K	
7年 1月	平日	往復	19.3	4	19	85.5	1,466.8				85.5			1,466.8
		復	19.5	5			1,852.5							
	平日	往復	18.7	1	19	9.5	355.3				9.5			355.3
		復												
	土日祝	往復	19.3	3	11	38.5	636.9				38.5			636.9
		復	19.5	4			858.0							
	土日祝	往復	18.7	1	11	5.5	205.7				5.5			205.7
		復												
小 計				30	139.0	5,375.2				139.0			5,375.2	
7年 2月	平日	往復	19.3	4	18	81.0	1,389.6				81.0			1,389.6
		復	19.5	5			1,755.0							
	平日	往復	18.7	1	18	9.0	336.6				9.0			336.6
		復												
	土日祝	往復	19.3	3	10	35.0	579.0				35.0			579.0
		復	19.5	4			780.0							
	土日祝	往復	18.7	1	10	5.0	187.0				5.0			187.0
		復												
小 計				28	130.0	5,027.2				130.0			5,027.2	
7年 3月	平日	往復	19.3	4	20	90.0	1,544.0				90.0			1,544.0
		復	19.5	5			1,950.0							
	平日	往復	18.7	1	20	10.0	374.0				10.0			374.0
		復												
	土日祝	往復	19.3	3	11	38.5	636.9				38.5			636.9
		復	19.5	4			858.0							
	土日祝	往復	18.7	1	11	5.5	205.7				5.5			205.7
		復												
小 計				31	144.0	5,568.6				144.0			5,568.6	

運行回数・実車走行キロ算定表①

\*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回  
ただし、循環系統は1運行1回  
\*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	月形浦白線	1日当たり		計画		実績		計画		実績		備考 (調整、増便、運休回数の理由等)				
		運行回数	計画運行回数 (い)	D 又は G	1,700.0	実績運行回数 (ろ)	K	1,700.0	計画実車走行キロ	E	65,741.6		実績実車走行キロ	N	65,741.6	運行回数 (い)-(ろ)=(は)
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
				運行回数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行回数 H	増便 I	運休(-) J	天災*2 I	D+I+J= K		増 L	減 M
7年 4月	平日	往復	19.3	4	21	94.5	1,621.2				94.5			1,621.2		
		復	19.5	5			2,047.5								2,047.5	
	平日	往復	18.7	1	21	10.5	392.7				10.5			392.7		
		復														
	土日祝	往復	19.3	3	9	31.5	521.1				31.5			521.1		
		復	19.5	4			702.0								702.0	
	土日祝	往復	18.7	1	9	4.5	168.3				4.5			168.3		
		復														
小計				30	141.0	5,452.8				141.0			5,452.8			
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
				運行回数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行回数 H	増便 I	運休(-) J	天災*2 I	D+I+J= K		増 L	減 M
7年 5月	平日	往復	19.3	4	20	90.0	1,544.0				90.0			1,544.0		
		復	19.5	5			1,950.0								1,950.0	
	平日	往復	18.7	1	20	10.0	374.0				10.0			374.0		
		復														
	土日祝	往復	19.3	3	11	38.5	636.9				38.5			636.9		
		復	19.5	4			858.0								858.0	
	土日祝	往復	18.7	1	11	5.5	205.7				5.5			205.7		
		復														
小計				31	144.0	5,568.6				144.0			5,568.6			
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)		
				運行回数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行回数 H	増便 I	運休(-) J	天災*2 I	D+I+J= K		増 L	減 M
7年 6月	平日	往復	19.3	4	21	94.5	1,621.2				94.5			1,621.2		
		復	19.5	5			2,047.5								2,047.5	
	平日	往復	18.7	1	21	10.5	392.7				10.5			392.7		
		復														
	土日祝	往復	19.3	3	9	31.5	521.1				31.5			521.1		
		復	19.5	4			702.0								702.0	
	土日祝	往復	18.7	1	9	4.5	168.3				4.5			168.3		
		復														
小計				30	141.0	5,452.8				141.0			5,452.8			

運行回数・実車走行キロ算定表①

\*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回  
ただし、循環系統は1運行1回  
\*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	月形浦白線	1日当たり		計画		実績		計画		実績		備考 (調整、増便、運休回数の理由等)						
		運行回数	計画運行回数 C	364	実績運行回数 H	1,700.0	計画運行回数 (い) D 又は G	1,700.0	運休回数 (い)-(ろ)=(は)	やむを得ない運休回数 (に) I	実績運行回数 (ろ) K		1,700.0	計画実車走行キロ E	65,741.6	実績実車走行キロ N	65,741.6	運行割合 (ろ+に)/(い)=(ほ)
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)				
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行日数 H	運行回数*1			実車走行キロ					
7年	7月	平日	往	19.3	4	22	99.0	1,698.4				99.0			1,698.4			
			復	19.5	5			2,145.0										
	平日	往	18.7	1	22	11.0	411.4				11.0			411.4				
		復																
	土日祝	往	19.3	3	9	31.5	521.1				31.5			521.1				
		復	19.5	4			702.0											702.0
	土日祝	往	18.7	1	9	4.5	168.3				4.5			168.3				
		復																
小 計				31	146.0	5,646.2				146.0			5,646.2					
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)				
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行日数 H	運行回数*1			実車走行キロ					
7年	8月	平日	往	19.3	4	20	90.0	1,544.0				90.0			1,544.0			
			復	19.5	5			1,950.0										
	平日	往	18.7	1	20	10.0	374.0				10.0			374.0				
		復																
	土日祝	往	19.3	3	11	38.5	636.9				38.5			636.9				
		復	19.5	4			858.0											858.0
	土日祝	往	18.7	1	11	5.5	205.7				5.5			205.7				
		復																
小 計				31	144.0	5,568.6				144.0			5,568.6					
年月	曜日区分	片道・循環系統キロ A	片道・循環回数 B	計 画					実 績					備考 (調整、増便、運休回数の理由等)				
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整% F	運行回数 G	運行日数 H	運行回数*1			実車走行キロ					
7年	9月	平日	往	19.3	4	20	90.0	1,544.0				90.0			1,544.0			
			復	19.5	5			1,950.0										
	平日	往	18.7	1	20	10.0	374.0				10.0			374.0				
		復																
	土日祝	往	19.3	3	10	35.0	579.0				35.0			579.0				
		復	19.5	4			780.0											780.0
	土日祝	往	18.7	1	10	5.0	187.0				5.0			187.0				
		復																
小 計				30	140.0	5,414.0				140.0			5,414.0					
合 計				364	1,700.0	65,741.6				1,700.0			65,741.6					

表6 車両の取得計画の概要(車両減価償却費等補助)(地域内フィーダー系統)

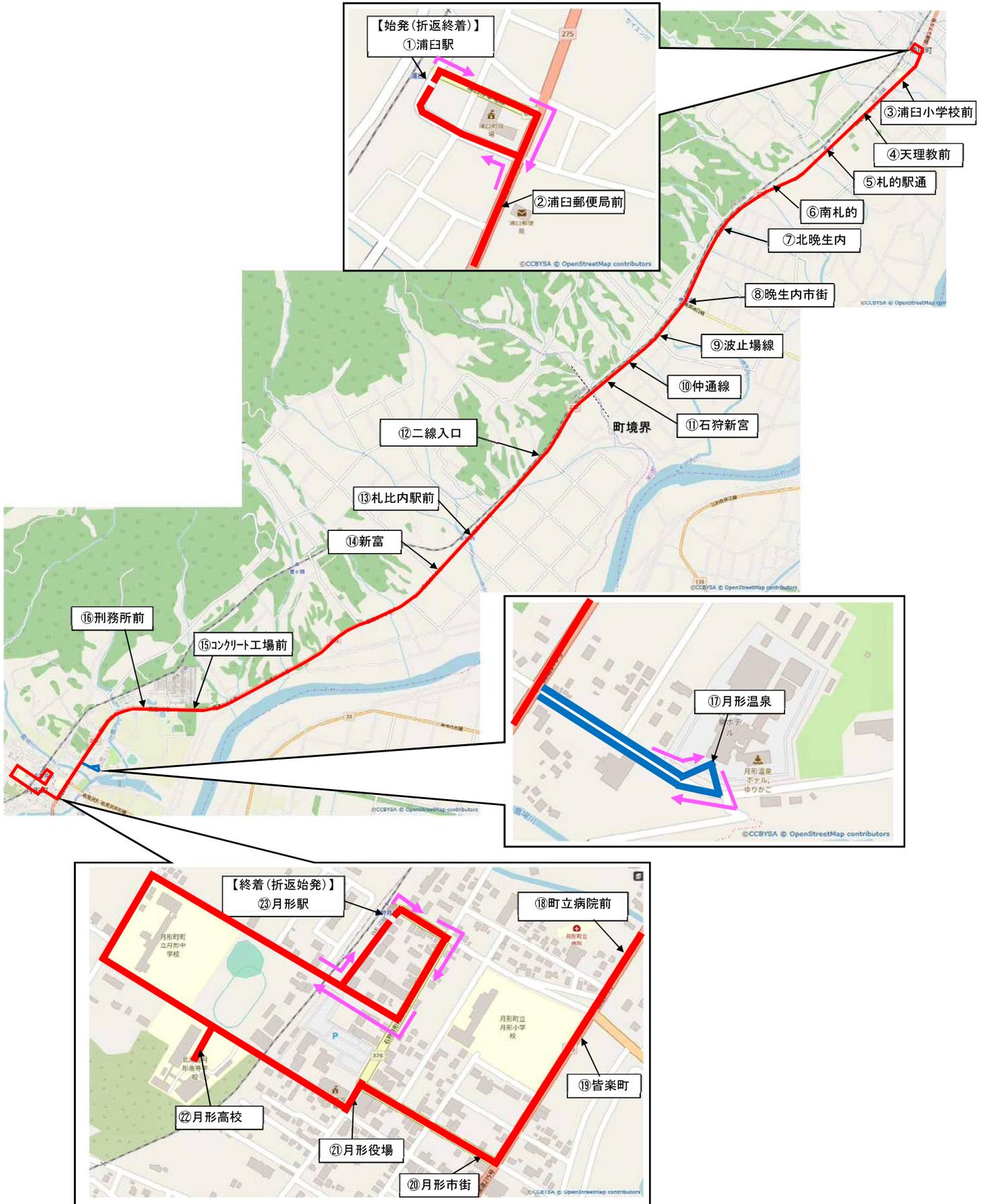
市区町村名	バス事業者等名	申請番号	運行の用に供する補助対象系統名(申請番号)	補助対象車両の種別			乗車定員	購入年月	利便増進特例措置	運送継続特例措置	購入等の種別
				イ	ロ	ハ					
月形町	株式会社美唄自動車学校	1	(1) 月形浦臼線	小型車両			14	令和2年3月			一括
		2	( )								
		3	( )								
		4	( )								
		5	( )								

(注)

- 「補助対象車両の種別」については、イ欄にノンステップ型、ワンステップ型又は小型車両の別を、ロ欄にスロープ付き又はリフト付きの別を、ハ欄に標準仕様(ノンステップバス認定要領(平成22年6月4日付け国自技第49号又は平成27年7月2日付け国自技第75号)に基づく認定を受けたもの)又は非標準仕様の別を記載すること。
- 「乗車定員」については、座席数(運転席を含む)に立席数を加えた数を記載すること。なお、立席は座席を除いた面積を1人あたりの専有面積0.14平方メートルで除した数とする(道路運送車両保安基準第24条、第53条)。
- 「購入年月」については、初年度の場合は購入予定年月を記載すること。
- 「利便増進特例措置」又は「運送継続特例措置」については、地域公共交通利便増進計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けた補助対象系統の運行の用に供する場合のみ「○」を記載すること。
- 「購入等の種別」については、一括、割賦又はリースの別を記載すること。

# 月形浦臼線 全体路線図

主系統 温泉経由便 (19.5km) : 赤線⇄青線⇄赤線のルート  
 副系統 早朝便 (18.7km) : 赤線のみルート (朝7時30分発の「浦臼駅発～月形駅行き」の便のみ、  
 月形高校通学用として月形温泉を経由しないショートカットのルート)



# ～ 札沼線月形浦臼バス 運行ダイヤ（令和4年10月） ～

【上り（浦臼駅→月形駅）】

【下り（月形駅→浦臼駅）】

所在	No	バス停	早朝便	月形温泉経由便				
			1便	2便	3便	4便	5便	
浦臼町	①	浦臼駅	7:30	9:50	11:50	15:30	17:15	
	②	浦臼郵便局前	7:31	9:51	11:51	15:31	17:16	
	③	浦臼小学校前	7:32	9:52	11:52	15:32	17:17	
	④	天理教前	7:33	9:53	11:53	15:33	17:18	
	⑤	札的駅通	7:34	9:54	11:54	15:34	17:19	
	⑥	南札的	7:35	9:55	11:55	15:35	17:20	
	⑦	北晩生内	7:36	9:56	11:56	15:36	17:21	
	⑧	晩生内市街	7:37	9:57	11:57	15:37	17:22	
	⑨	波止場線	7:38	9:58	11:58	15:38	17:23	
	⑩	仲通線	7:39	9:59	11:59	15:39	17:24	
	⑪	石狩新宮	7:41	10:01	12:01	15:41	17:26	
月形町	⑫	二線入口	7:43	10:03	12:03	15:43	17:28	
	⑬	札比内駅前	7:45	10:05	12:05	15:45	17:30	
	⑭	新富	7:46	10:06	12:06	15:46	17:31	
	⑮	コンクリート工場前	7:52	10:12	12:12	15:52	17:37	
	⑯	刑務所前	7:52	10:12	12:12	15:52	17:37	
	⑰	月形温泉	/	10:16	12:16	15:56	17:41	
	⑱	町立病院前	7:54	10:18	12:18	15:58	17:43	
	⑲	皆楽町	7:54	10:18	12:18	15:58	17:43	
	⑳	月形市街	7:55	10:19	12:19	15:59	17:44	
	㉑	月形役場	7:55	10:19	12:19	15:59	17:44	
	㉒	月形高校	7:57	10:21	12:21	16:01	17:46	
	㉓	月形駅	8:00	10:24	12:24	16:04	17:49	

所在	No	バス停	月形温泉経由便				
			1便	2便	3便	4便	5便
月形町	①	月形駅	8:10	10:40	12:35	16:15	18:15
	②	月形高校	8:14	10:44	12:39	16:19	18:19
	③	月形役場	8:15	10:45	12:40	16:20	18:20
	④	月形市街	8:16	10:46	12:41	16:21	18:21
	⑤	皆楽町	8:17	10:47	12:42	16:22	18:22
	⑥	町立病院前	8:17	10:47	12:42	16:22	18:22
	⑦	月形温泉	8:19	10:49	12:44	16:24	18:24
	⑧	刑務所前	8:23	10:53	12:48	16:28	18:28
	⑨	コンクリート工場前	8:23	10:53	12:48	16:28	18:28
	⑩	新富	8:29	10:59	12:54	16:34	18:34
	⑪	札比内駅前	8:30	11:00	12:55	16:35	18:35
	⑫	二線入口	8:32	11:02	12:57	16:37	18:37
浦臼町	⑬	石狩新宮	/	/	/	-	-
	⑭	仲通線	8:34	11:04	12:59	16:39	18:39
	⑮	波止場線	/	/	/	-	-
	⑯	晩生内市街	8:36	11:06	13:01	16:41	18:41
	⑰	北晩生内	8:37	11:07	13:02	16:42	18:42
	⑱	南札的	8:38	11:08	13:03	16:43	18:43
	⑲	札的駅通	8:39	11:09	13:04	16:44	18:44
	⑳	天理教前	8:40	11:10	13:05	16:45	18:45
	㉑	浦臼小学校前	8:41	11:11	13:06	16:46	18:46
	㉒	浦臼郵便局前	8:42	11:12	13:07	16:47	18:47
	㉓	浦臼駅	8:44	11:14	13:09	16:49	18:49

○土日祝日便～赤字は土日祝日運休となります。

○年末年始便～1/1は運休、12/31・1/2～3は土日祝日便となります。

月形町地域公共交通活性化協議会委員名簿

任期：令和4年6月14日～令和6年6月13日

条例第4条の 委員区分	NO	所属・団体	委員		協議 会	幹 線 部 会	地 域 部 会	備考
			役職	氏名				
第1号 (公共交通事業者 等)	1	北海道中央バス(株)	岩見沢営業所長	濱 和己	1	1		
	2	新篠津村 (村営バス)	産業建設課長	金兵 真人	2	2		
	3	(有)アオヤナギ観光バス	代表取締役社長	青柳 宗明	3	3	1	
	4	月形町社会福祉協議会	事務局長	尾崎美世子	4	4	2	福祉有償運送事業者
	5	札幌地区バス協会	事務局次長	野川 祐次	5			
	6	株式会社美唄自動車学校	代表取締役社長	林 正芳	6	5		
	7	有限会社下段モータース	取締役専務	下段 英樹	7	6		
第2号 (道路管理者)	8	北海道開発局札幌開発建設部 札幌道路事務所	副所長	熊谷 吉伸	8			国道
	9	空知総合振興局札幌建設管理部 岩見沢出張所	次長	山口 毅	9			道道
第3号 (公安委員会)	10	札幌方面岩見沢警察署	交通課長	村田 和外	10			
第4号 (地域公共交通利用 者)	11	利用者		熊倉 なみ	11	7	3	
	12	利用者		刈田 廣美	12	8	4	
第5号 (学識経験者)	13	北海道大学大学院工学研究院	教授	岸 邦宏	13	9	5	
第6号 (商工業、福祉及び 教育団体、その他団 体等)	14	月形商工会	経営指導員	平吹 達也	14	10	6	
	15	月形高等学校	教頭	菅原 光男	15	11	7	
第7号 (行政区長等)	16	月形町行政区連絡会議	札比内第一行政区	小野 栄治	16	12	8	
	17	月形町行政区連絡会議	赤川行政区	石川 裕治	17	13	9	
第9号 (その他町長が必要 と認める者)	18	北海道運輸局札幌運輸支局	首席運輸企画専門 官	経亀 真利	18	14	10	
	19	空知総合振興局	地域政策課長	井神 淳	19	15	11	
	20	北海道地方交通運輸産業労働組合 協議会	副議長	児玉 成治	20			
第8号 (町職員)	21	月形町	副町長	堀 光一	21			
事務局	月形町企画振興課		参事	竹内 晶				
			地域振興係長	新道 孝治				
			主事	樋浦 翔太				